

# Ivana Šrámková – Beings

イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの



《Slepice/Hen》2016 年 作家蔵 撮影:Gabriel Urbánek

- 展覧会名:展覧会名:Ivana Šrámková – Beings / イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの
- 展覧会期:令和 2 年 4 月 25 日(土)–9 月 22 日(火・祝)
- 開館時間:9 時半–18 時(金・土曜日は 20 時まで)
- 閉場日:第 1、第 3 水曜日  
(ただし 5/6 (水)、9/2 (水) は開場、5/13 (水)、9/9 (水) は閉場)
- 会場:富山市ガラス美術館 3 階 展示室 3
- 料金:一般 700 円(500 円) 大学生 500 円(400 円)  
\*( )内は 20 名以上の団体 \*高校生以下は無料 \*本展観覧券で常設展も観覧可
- 出品点数:約 80 点
- 主催:富山市ガラス美術館(富山市西町5番1号)
- 後援:チェコ共和国大使館、チェコセンター東京、北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送



チェコ共和国大使館



チェコセンター

ČESKÉ CENTRUM



## ■概要

チェコ共和国在住の作家イヴァナ・シュラムコヴァ（1960-）は、主に人間や動物をモチーフに、キャストの技法を用いたガラス彫刻や、吹きガラスのオブジェや器、そして油絵など幅広い方法で表現を展開しています。

作家は、自身を取り巻く自然や社会から着想を得て作品を制作します。四角形や円などに簡略化された人間の身体や、デフォルメされた動物のかたちには、作家が捉えた人間、あるいは動物の特徴や内面が現れています。空間の中で静かに佇む彼らの姿は、私たちに穏やかで親しみやすい印象を与えるとともに、どこか憂いを含んでいるかのように見えます。

本展では、43羽もの小鳥や、馬、狐といった動物をモチーフとする作品、内に秘めた人間の感情をテーマとする作品など、近年の作品を中心に約80点を展示します。これら個性豊かな作品たちを通して、イヴァナ・シュラムコヴァの生み出す独自の世界観をご紹介します。

## ■作家略歴

- 1960年 リベレツ(旧チェコスロヴァキア)生まれ
- 1976-80年 ゼレズニープロトのガラス学校で学ぶ
- 1981-87年 プラハ美術工芸大学のスタニスラフ・リベンスキーのもとで学ぶ

## 【個展歴】

- 1988年 「Ivana Šrámková」Galerie Delta, プラハ, チェコ共和国
- 1989年 「Ivana Šrámková」Galerie Gottschalk-Betz, フランクフルト, ドイツ  
「Šrámková a Konvička」Nákupní garelie Atrium, プラハ, チェコ共和国  
「Šrámková」Gallerie Makráč (International of Macromolecular Chemistry CAS), プラハ, チェコ共和国
- 1990年 「Šrámková, Mašitova, Machat, Velišek」Galerie Clara Scrimini, パリ, フランス
- 1991年 「Ivana Šrámková-Glass and Drawings」ギャラリー仲摩, 東京
- 1992年 「Ivana Šrámková」Ústřední Kulturní Dům Železničářů, プラハ, チェコ共和国  
「Ivana Šrámková」Galerie Böhm, プラハ, チェコ共和国  
「Ivana Šrámková」Galerie Ingrid Mensendiek, デュッセルドルフ, ドイツ  
「Orlická a Šrámková」Galerie Červená Tráva, プラハ, チェコ共和国
- 1994年 「Roučka, Šrámková, Hlava」Galerie Groeneveld, アルメロー, オランダ
- 1997年 北ボヘミア博物館, リベレツ, チェコ共和国  
「Ivana Šrámková: Sochy」チェコ国立技術博物館, プラハ, チェコ共和国  
「Ivana Šrámková-Sklo」Selene Architect Studio, プラハ, チェコ共和国
- 1999年 「イヴァナ・シュラムコヴァー展」ギャラリー仲摩, 東京

2002 年 「Ivana Šrámková: Robo-Animals」ヘラーギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
 2004 年 「NUDES」ヘラーギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
 2006 年 ヘラーギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
 2008 年 「Orbis Pictus」ヘラーギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
 2011 年 「I Can't Stop」DOX Centre for Contemporary Art, プラハ、チェコ共和国  
 2012 年 「Creatures」ヘラーギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
 2013 年 「Ivana Šrámková >>Creatures<<」Glagalerie Stötting, ハンブルク、ドイツ  
 2014 年 「Orbis Pictus」FOX Gallery, プラハ、チェコ共和国

#### ■主な所蔵先

チェコ国立プラハ工芸美術館／プラハ、チェコ共和国；プラハ国立美術館／プラハ、チェコ共和国；  
 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館／ロンドン、イギリス；コーニングガラス美術館／コーニング、アメリカ；MUDAC 現代デザイン応用芸術美術館／ローザンヌ、スイス；アルスター国立博物館／ベルファスト、アイルランド；北海道立近代美術館／北海道；富山市ガラス美術館／富山

#### ■関連企画

・参加型ワークショップ 「ペン型リューターを用いての制作体験！オリジナルの器を作ろう」

日時：8月8日(土)

会場：富山市ガラス美術館 2階 会議室

講師：ワタナベサラ(ガラス作家)

※事前申込制。応募者多数の場合は抽選。

※定員、申込方法などワークショップの詳細については、後日当館ウェブサイトに掲載します。

・学芸員によるギャラリートーク

日時：5月9日(土)、23日(土)、6月6日(土)、20日(土)、7月4日(土)、18日(土)

8月1日(土)、22日(土)、9月5日(土)、19日(土) 各回 15:00～

会場：富山市ガラス美術館 3階 展示室3

※事前申込は不要です。展覧会場への入場には本展観覧券をご提示ください。

※関連プログラムの日時は都合により中止、または変更となる場合があります。

最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

#### ■広報用画像の貸出しについて

4p-6p の画像 1-12 を広報用に貸出いたします。

ご希望の方は、7p の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

E メールか FAX にて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX: 076-461-3310

■広報用画像



1 《KUROS》1996 年 富山市ガラス美術館蔵  
撮影:末正真礼生



2 《TORSO》1997-98 年  
富山市ガラス美術館蔵 撮影:岡村喜知郎



3 《FIGURE》1998 年 富山市ガラス美術館蔵  
撮影:末正真礼生



4 《Sedící král / Shitting King》2009 年  
作家蔵 撮影: Gabriel Urbánek



5 《Horká hlava / Hot Blood》 2018 年  
作家蔵 撮影 : Gabriel Urbánek



6 《Modrý kůň / Blue Horse》 2007 年  
個人蔵 撮影 : Gabriel Urbánek



7 《Slepice / Hen》 2016 年 作家蔵  
撮影 : Gabriel Urbánek



8 《Tlustý Koník / Fat Horse》 2016 年  
作家蔵 撮影 : Gabriel Urbánek



9 《Muž a pes / Man and Dog》 2015 年  
作家蔵 撮影 : Gabriel Urbánek



10 《NIGHT GARDEN》 2020 年  
作家蔵 撮影 : Gabriel Urbánek



11 (右) 《small birds (RAMPANT, TOO)》  
(左) 《small birds (RAMPANT)》  
2010-20 年 作家蔵  
撮影 : Gabriel Urbánek



12 《small birds (GRADUATE)》 2010-20 年  
作家蔵 撮影 : Gabriel Urbánek

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者 : \_\_\_\_\_  
Tel : \_\_\_\_\_ Fax : \_\_\_\_\_  
E-mail : \_\_\_\_\_  
住所 : \_\_\_\_\_  
団体名 : \_\_\_\_\_

## 富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展

「イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名 : \_\_\_\_\_2. 媒体種別 : TV 新聞 雑誌 フリーぺーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体  
その他 ( ) \_\_\_\_\_3. 掲載の趣旨  
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） \_\_\_\_\_4. 掲載（放映）日時 : \_\_\_\_\_5. ご希望の画像番号 : \_\_\_\_\_

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。また、縦横比の変更やトリミングはご遠慮ください。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax: 076-461-3310